

マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果
5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴



参考資料

- 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
- 2) マダニ媒介SFTSとは
- 3) マダニの生活環

朝賀 仲路 Illustrations
衛生昆虫写真館 Photos

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部

Tel: 03-5285-1111 (代表)

Fax: 03-5285-1178

e-mail: info@nih.go.jp

SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所

Tel: 03-5285-1111(代表)

厚生労働省健康局結核感染症課

Tel: 03-5253-1111(代表)

1. マダニの生息場所

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



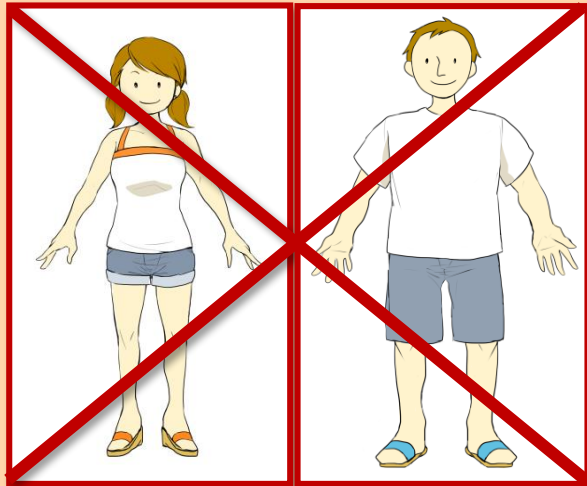
マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。



2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、
ハイネックのシャツを
着用しましょう。

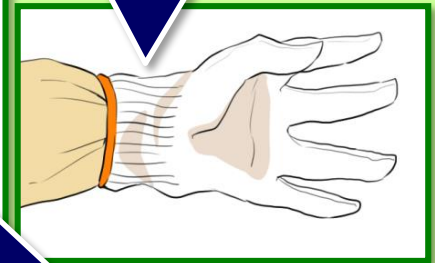


半ズボンやサンダル履き
は不適當です！

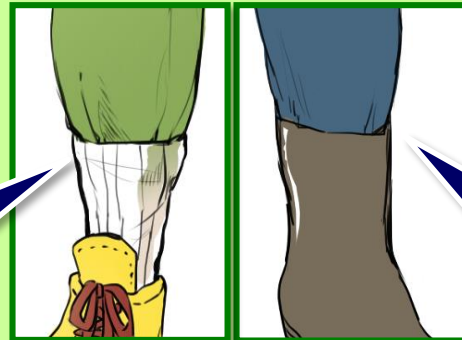
ハイキングなどで山林に入る
場合は、ズボンの裾に靴下
を被せましょう。



シャツの袖口は
軍手や手袋の中に
入れましょう。



シャツの裾はズボン
の中に入れましょう。



農作業や草刈などでは
ズボンの裾は長靴
の中に入れましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

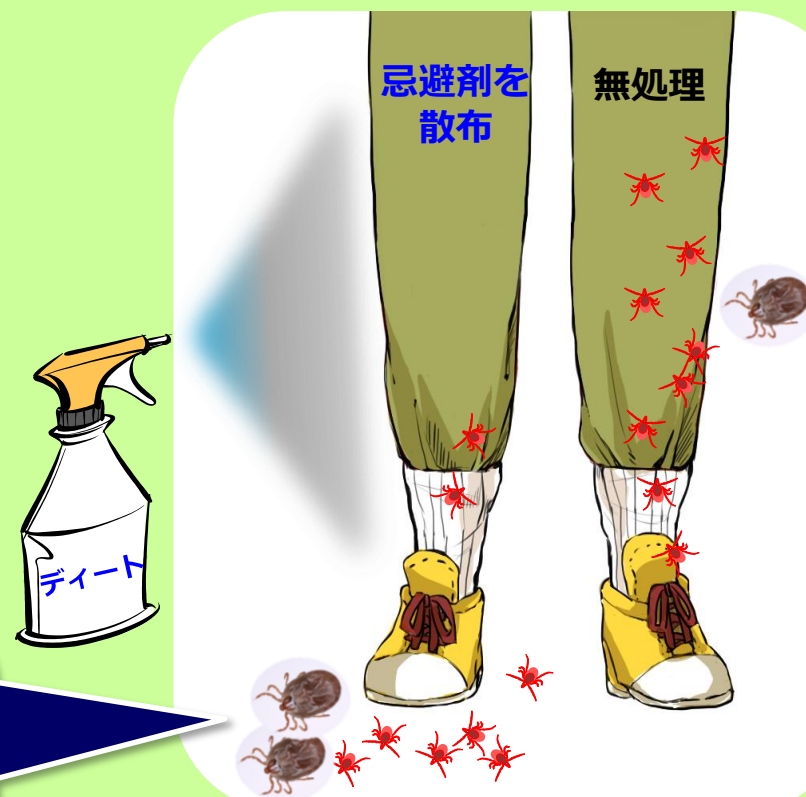
ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

マダニに対する忌避剤（虫よけ剤）が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。

忌避剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。



5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

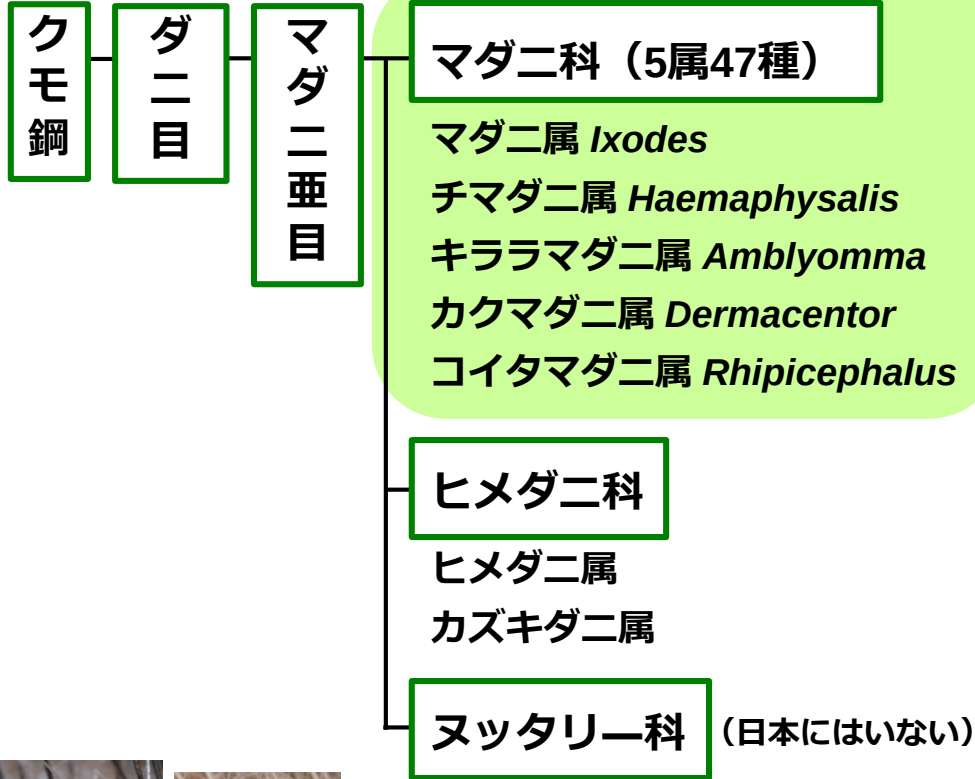
忌避剤	有効成分 含有率	分 類	効力持続 時間の目安	注意事項	特 徴
ディート	5～10 %	防除用 医薬部外品	5% 約2時間 ¹⁾ 10% 約3時間 ¹⁾ 15% 約5時間 ¹⁾	6ヶ月未満には 使用しない 6ヶ月以上2歳 未満1日1回	・ 独特の匂い ・ ベたつき感 ・ 高濃度では プラスチック・ 化学繊維・皮革 を腐食すること がある
	12 %	第2類医薬品		2歳以上12歳 未満1日1～3回	
	高濃度製剤 30 %	第2類医薬品	5～8時間 ²⁾	12歳未満には 使用しない	
イカリジン	5 %	防除用 医薬部外品	6時間 ²⁾	使用制限は特に なし	
	高濃度製剤 15 %	防除用 医薬部外品	6～8時間 ²⁾		

1) “Safety Tips on Using Personal Insect Repellents”, Health Canada (2003) を参照

2) 容器裏面に記載

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



マダニが媒介する感染症

() 内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)

Q熱 (リケッチア)

ライム病 (スピロヘータ)

ボレリア症 (細菌)

野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS

(フレボウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)

キャサヌル森林病 (フラビウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱

(ナイロウイルス)

..... など

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Sever fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

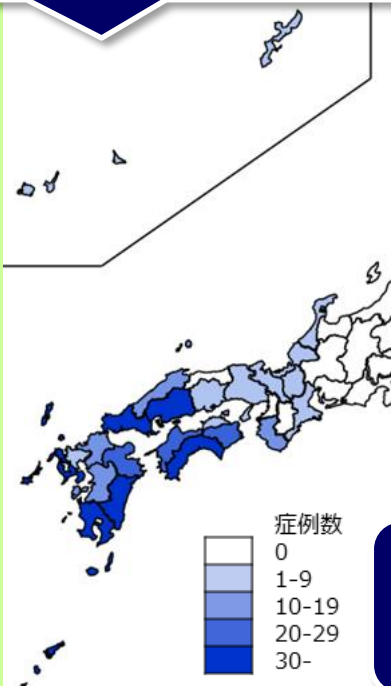
これまでに、**中国・韓国・日本**でSFTSの患者が報告されています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つかっています。



ウイルスの潜伏期間は
(マダニに咬まれてから)
6日～2週間
とされています。

SFTS症例の推定感染地

西日本を中心に**23府県**で患者が発生しています。

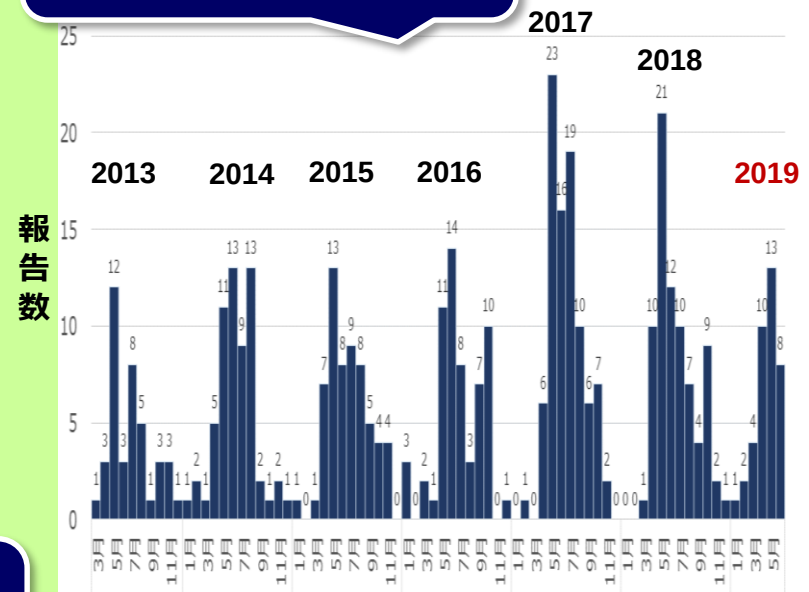


SFTS患者基本情報

合計		434 名
性別	男	212
	女	222
年齢	中央値	74歳
	～20代	5
	30代	6
	40代	10
	50代	27
	60代	109
	70代	134
	80代	121
	90代	20

2013年1月1日以降に報告された患者は合計434名です。

SFTS患者は**5～8月**に多く発症しています。



患者発症年および発症月

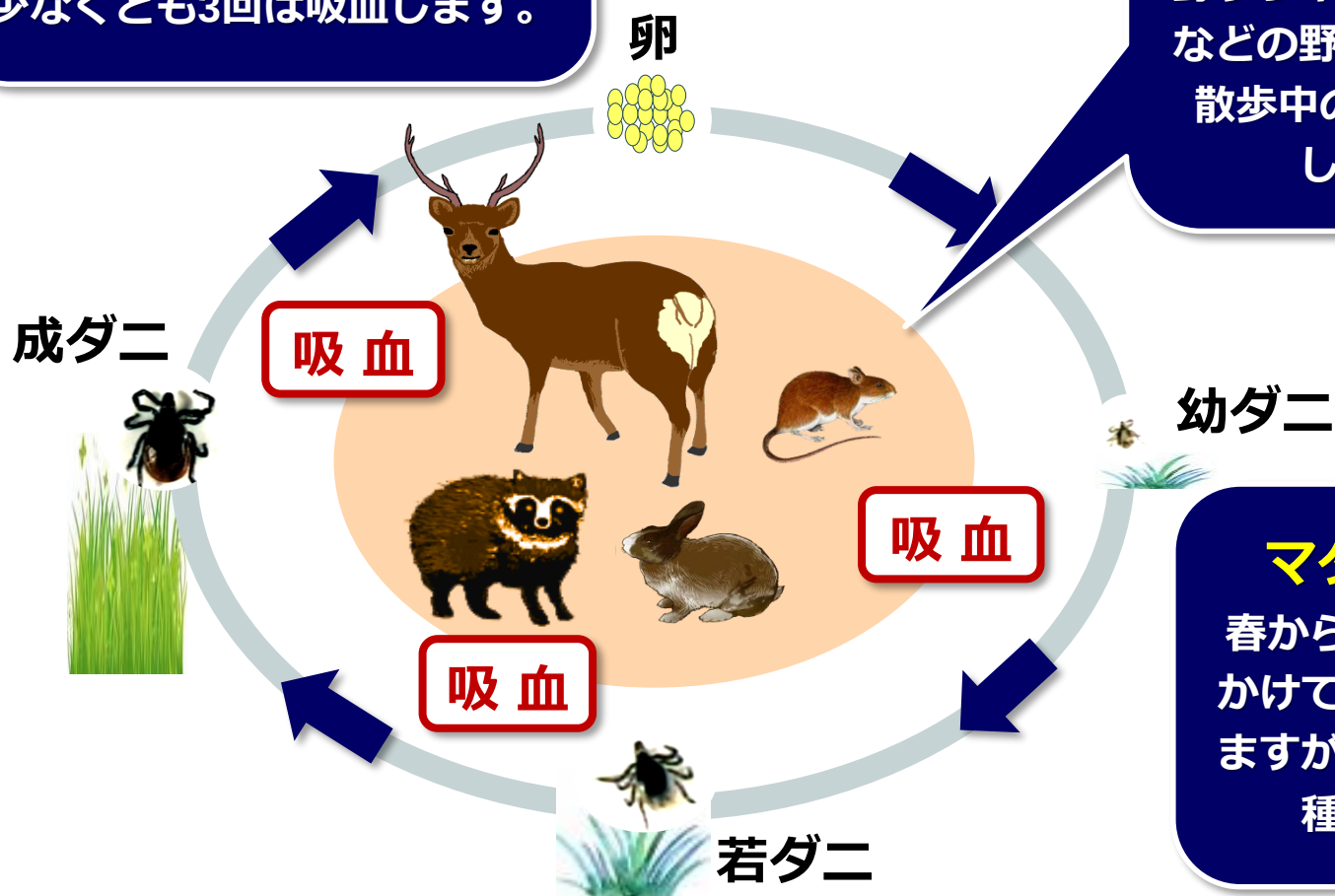
参考資料 3) マダニの生活環

マダニは、

幼ダニ、若ダニ、成ダニの
各ステージで1回以上、生涯で
少なくとも3回は吸血します。

マダニは、

ヒト以外に、野ネズミ、
野ウサギ、シカ、イノシシ
などの野生動物や、ネコ、
散歩中のイヌなども吸血
しています。



マダニの多くは、

春から秋（3～11月）に
かけて活動が活発になり
ますが、冬季も活動する
種類もいます。